

## 日本感情心理学会 2025 年度臨時理事会議事録

日時：2025 年 4 月 3 日（木）9:00～10:30

会場：オンライン

出席者（以下、敬称略）：有光興記（理事長）、薊理津子、稲垣勉、大平英樹、北村英哉、木村健太、蔵永瞳、小林亮太、澤田匡人、白井真理子、手塚洋介、中村真、藤村友美、樋口匡貴、一言英文、福田哲也、武藤世良、門地（仙波）里絵、山本晶友、山本恭子

委任：鈴木敦命

### 【審議事項】

#### 1. 副理事長、事務局長、事務局幹事の選任

- ・有光理事長より、副理事長として澤田理事、事務局長として稲垣理事、事務局幹事として福田理事をそれぞれ指名する旨が説明され、了承された。

#### 2. 各委員会の体制

- ・各委員会の委員長より、挨拶および委員の紹介があった。
  - 学術プログラム委員会（委員長：一言理事）
  - 感情心理学研究編集委員会（委員長：藤村理事）
  - エモーション・スタディーズ編集委員会（委員長：蔵永理事）
  - 倫理委員会（委員長：樋口理事）

#### 3. ワーキンググループ（以下 WG）の設置について

- ・有光理事長より、新たに WG を立ち上げたい旨、提案があった。

審議の結果、若手・女性研究者を含む多様な研究者の支援を検討する WG、International Society for Research on Emotion（以下 ISRE）をはじめとする国際学会との連携を検討する WG の立ち上げが了承された。メンバーの委嘱については、理事長より順次声かけを行う旨が説明された。

#### 4. 理事長推薦理事について

- ・有光理事長より、福田哲也先生、小林亮太先生、山本晶友先生を理事長推薦理事としたい旨が説明され、審議の結果了承された。

#### 5. 常任理事の選任（投票）

- ・常任理事の互選に先立ち、有光理事長より学術プログラム委員会委員長（一言理事）の常任理事就任にあたり、常任理事の連続した任期は 2 期までとする規程があるため、規程の改正を前提として常任理事に就任いただきたい旨、説明があった。この点について異議はなく、理事長・副理事長・事務局長、各委員会委員長を除き、2 名の常任理事について投票による互選が行われた。その結果、手塚理事、木村理事の 2 名が選出され、常任理事への就任を受諾した。

## 【報告事項】

### 1. 事務局のJPASS への移行について

- ・有光理事長より、JPASS マイページへの移行はひとまず終了し、4月1日より稼働していることが報告された。また、JPASS 事務局との業務連携やJPASS のメール配信機能等についても確認する必要があり、JPASS 事務局と調整中であることが報告された。

### 2. 学会ホームページの移行について

- ・有光理事長より、本年度よりエンクリエイトに管理・更新業務を委託し、4月1日より公開されていることと併せて、旧アドレスに接続した際は、上記にリダイレクトされるよう対応を依頼していることが報告された。また、問い合わせ先等は以前の委託先の名称や連絡先が残っているので、修正を依頼中であることが報告された。

### 3. Slack の運用開始について

- ・有光理事長より、これまで理事会の審議等で使用していた学会ポータルが使用できなくなったため、コミュニケーションツールとして slack を導入すること、今後、メールから slack での連絡に移行するため、各自で使用可能な状態にするよう依頼があった。また、感情心理学研究編集委員会、学術プログラム委員会も使用する予定であること、理事からの広報依頼（ニューズレター、HP 更新）もチャンネルを設置する予定であることが報告された。

### 4. 2025 年度（第 33 回）大会（ライトキューブ宇都宮）の準備状況について

- ・大会実行委員長の木村常任理事より、第 33 回大会の準備状況および準備委員会の組織等について報告があった。

### 4. 大会開催

- ・有光理事長より、今後の年次学術大会について以下のとおり報告があった。
  - 2025 年度（第 33 回）大会 ライトキューブ宇都宮（大会実行委員長：木村健太先生）  
2025 年 10 月 25 日（土）-26 日（日）
  - 2026 年度（第 34 回）大会 名古屋大学（生理心理学会との合同開催予定：大会実行委員長（感情心側）大平英樹先生）  
2026 年 4 月 24（金） - 26 日（日）（予定）
  - 2027 年度（第 35 回）大会 広島修道大学（大会実行委員長：中西大輔先生）
  - 2028 年度以降（交渉中の先生あり＋立候補受付中）

### 6. 2024 年度監査について

- ・有光理事長より、2024 年度の監査について、事務局は移行しているが、当該年度の会計管理業務を委託していたのは前委託先（国際文献社）であるため、国際文献社に監査業務を依頼することと、2025 年 5 月に実施予定であることが報告された。

以上